

読み解きガイドブック 目次

8	7	6	5	4	3	2	1	
題名	具体と抽象	要点、要約、要旨	意味段落	形式段落	文・文章	主語と述語	問いと答え	目次
・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・
6	5	4	4	4	3	3	2	1
	16	15	14	13	12	11	10	9
								説明文の型
・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・
16	15	14	13	12	11	10	8 〜 9	7

## 1 問いと答え

問いととは、「筆者が読者に問いかけたり、質問をしたりしている文」です。読者に問いかけていますが、実は筆者の伝えたいことがその問いには書かれていません。筆者が伝えたいことをあえて、疑問の形で投げかけています。

答えとは、「筆者の問いに対して、筆者が答えている文」です。

問いの例) では、たまたまのからをわらなると、ゆづらがゆづたまいじ、ゆづらが生たまいかを、見分けるじとはできなうものでしょうか。

(ゆづらが生たまいじ、ゆづ じゆ)

答えの例) じゆじゆ、からをわらなうと、回の方のちがいから、ゆづたまいじと生たまいじを見分けるじとはできまうた。

(ゆづらが生たまいじ、ゆづ じゆ)

## 2 主語、述語

主語とは、何が(は)、だれが(は)を表すことばを主語といっています。

※「しも」「ふいそ」「ふえ」と書いてあることもあります。

述語とは、何だ、どうする、どんなだを表すことばを述語といっています。

主語

述語

例：この 赤い 花は 美しい。

## 3 文・文章

文とは、主語と述語がある形のことです。

文章とは、文が二つ以上続いたかたちのことです。

例：文 南葛西第二小学校は江戸川区にあります。

文章 南葛西第二小学校は江戸川区にあります。開校してから今年で三十六年たちます。小学一年生

から小学六年生までのやく六百人が通っています。そして、やさしい先生がたくさんいる小学校です。

#### 4 形式段落

一字下がって文章が始まっているところが形式段落の始まりです。説明の内容や場面が変わると形式段落も変わります。

#### 5 意味段落

要点を理解し、形式段落をまとめたものを**意味段落**といいます。

#### 6 要点、要約、要旨

要点：形式段落を一言でまとめたもの

## 7 具体とちゅうしょう

具体：くわしく説明しているところ↓**実験、観察、調査、事例、体験など**

ちゅうしょう：くわしい説明を（短く、簡潔に）かんけつまとめたところ↓**まとめ、考察、要点、筆者の主張など**

例：南葛西第一小学校の子どもたちを**具体的に**説明するよ、

「先生に言われたことを聞く。男女の仲が良い。元気によく外で遊ぶ。友達にやさしい。」

南葛西第一小学校の子どもたちを**ちゅうしょう的に**説明するよ、

「素直で明るく、へんやい子どもたち」

## 8 題名

説明文でも題名には、筆者の考えや思いが入っています。題名は「筆者の主張」、「題材」、「話題」などから付けられます。

なぜ、この題名にしたのかな、などを考えると、筆者の伝えたいこと(主張)をしっかりと伝えます。

例：「すみれとありの」

すみれが「コンクリートに咲くには、ありの力が働いているという、すみれとありの関係性を筆者は伝えた  
い。

9 説明文の型

A時系列型（れっしや型）  
じけいれつ

時間や事柄の順序にそって書かれている。

- ① 手順 1
- ② 手順 2
- ③ 手順 3
- ④ 手順 4
- ⑤ おわり

例) きつつき

C尾括型（おしり型）  
びかつ

先に事例がしようかいされて、最後にまとめている。

- ① 事例 1
- ② 事例 2
- ③ 事例 3
- ④ まとめ（答え、筆者の考え）

例) くらしと絵文字

## 10 理科的な説明文①

○実験や観察して分かったことが説明されていることが多い。

○理科で使われる言葉

- ・予想、仮説
- ・実験、観察（方法、じゆんび、道具）
- ・結果、事実
- ・考察、結論

○流れ

①予想↓②実験、観察↓③結果、事実↓④考察、結論

- ・何回か実験が繰り返されることもある。（どちらが生たまごでしよう）



10 理科的な説明文②

○実験や観察で使われる言葉

・ ～をじゅんびします。

・ ～を用意します。

↓  
じゅんび

・ ～を使います。

↓  
道具

・ ～します。～しました。↓  
方法

○結果、事実で使われる言葉

・ ～します。～しました。

・ ～となりました。

○考察、結論で使われる言葉

・ ～と考えられます。～と考えた。

○予想、仮説で使われる言葉

・ ～と予想します。

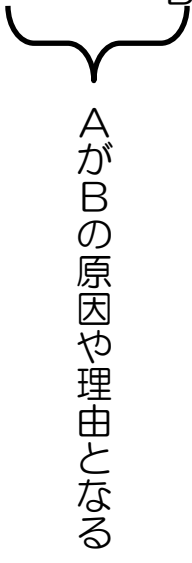
・ ～なのかもしれません。

○つなぎの言葉に注目するだけで、文と文のつながりや段落と段落のつながりが分かりやすくなります。

・ AだからB、AですからB  
例) ねぼうした。だから、ちこくした。

・ AそこでB  
例) 分からない。そこで、先生に聞いた。

・ AそれでB



・ しかし→  
今までの話の流れと反対か少しちがうことを言いつきにつかう言葉

・ では→  
今までの話の流れとちがうことを言いつきにつかう言葉

・ ところが、→  
今までの→今までは別の話題を始める時につかう言葉

・ つぎの  
つぎの  
前につかれた事から(まとめて)考えられることを言いつきに使う言葉